

2013年10月15日号

Tel/Fax 042-668-1020 E-mail info88@wakaokimie.jp
<http://wakaokimie.jp> http://twitter.com/wakao_kimie

発行 若尾きみえと生き生き市民会議



TOPICS ▶ 前市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告

中核市移行に向け本格稼働 今こそ問われる市民の力
 管理責任を放棄した悪質な空き家は、固定資産税の減免適用対象外に！
 子宮頸がんワクチン事業は早期中止を！／金比羅斜面緑地の売却問題

ごあいさつ

国は、重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らせるための地域包括ケアシステムを作る方針です。しかし、多くの方が在宅で終末を迎えることを望みつつも、実際は家族の介護の負担が大きく、施設整備を望む声が多いのも事実です。国が示す地域包括ケアが単なる施設整備費の削減ではなく、

本人の意志を尊重しつつ、家族も困らない制度づくりにつながるのかは、まだまだ未知数です。今後も、医療・介護の問題について皆さんと一緒に考え、行政にも発信していきたいと思えます。

前市議会議員 若尾 きみえ

第6回 まちづくり 市民講座

「年金のこと、老後の生活のこと一緒に考えてみませんか!?!」

～老後に必要な生活費と自分がもらえる年金の額は?～

- 日 時／11月9日(土) 13:30～15:00 (13:00受付開始)
- 場 所／めじろ台第一会館 (八王子市めじろ台4-12-1 Tel 663-2744)
- 参加費／資料代 300円
- 講 師／井上 英樹さん (ファイナンシャルプランナー 株式会社 チョイス 代表取締役)



第7回 まちづくり 市民講座

「防災問題を考える」

～被災地岩手県大槌町の支援から見てきたこと～

*東日本大震災発生から2年半余り、被災地に通い続け支援をしてきた活動についてお聞きします。

- 日 時／12月7日(土) 10:00～12:00
- 場 所／めじろ台第2会館 (八王子市めじろ台4-40-15)
- 参加費／300円
- 講 師／前川 浩子さん (がんばっし大槌 代表 元府中市議会議員)

申し込み

裏面下の連絡先
**若尾きみえと
 生き生き市民会議**
 まで

写真で見る 活動報告



◎今年も恒例めじろ台祭りに参加



◎八王子バイオマス・エコセンターの住民説明会に参加 悪臭の原因となった発酵施設



◎伝統工芸貝紫染めの山村多栄子さんの作品展示会にて



◎谷戸のたんぼの田植えに参加 いのししに稲を食べられないよう電気柵も設置

I. 2015年中核市移行に向け本格稼働 今こそ問われる市民の力

◎移行後得られる権限で何をするのか？

中核市移行後、本市には、児童福祉施設の設置許可や特別養護老人ホームの設置許可、屋外広告物の制限、開発行為の許可など福祉から都市計画まで1153件の事務権限が移譲となり、地域の実情に応じた基準を条例で制定できるようになります。地方分権の流れから言えば、中核市への移行は望ましい方向です。しかし、これには、大きな責任もともないます。石森市長からは、「市民ニーズに応じたまちづくりを行い、多摩のリーディングシティとして豊かな資源を生かした独自性・創造性を発揮したまちづくりをめざしていく」というメッセージはあるものの、具体的な政策は明らかにされていません。

◎問われる市民・議会・行政職員の力

首長のまちづくりへの理念が明確でないだけに、今後

のあり方は、市民にかかってきます。市街化調整区域の緑の開発を巡り、議会では、建設計画中止の請願審議が4回も継続になっていますが、移行後、開発権限を手にした市は、これまで通り緑を守るのか、開発に舵取りをするのかは、まさにこれからの市民の声次第です。

今後は高い知見と未来を見すえた判断が重要です。市民・議会・行政職員の意識と力が、大きく問われます。

今後少子高齢化が進む中、税収は減少していくと予想されます。開発によるまちの拡大ではなく、コンパクトシティ構想のもと、地域再生に向けた取り組みこそ必要だと私は考えています。ぜひ多くの市民の皆さんと、新しい八王子のまちづくりの方向性を考え、市民の知恵を反映できるまちと行政になるよう、模索していきたいと思えます。

II. 管理責任を放棄した悪質な空き家は、固定資産税の減免適用対象外に！

本市で空き家条例が制定され一歩前進となりましたが、管理責任を放棄し、固定資産税の減免を得るために、とにかく古家を乗せておけばよいと考える悪質な空き家の所有者もいます。窓ガラスが割れ、中に動物が住み着き、庭木が伸び放題で近隣に迷惑をかけながら長年放置し続けている

ケースもあります。悪質なものは、固定資産税の6分の1減免の対象からはずすよう要望したところ、所管からは「家屋の体や住宅の体をなしていないものは減免の対象外であり、問題のあるものについては、調査をし、適正な課税をしていく」との回答がありました。

III. 強い副反応に苦しむ子どもたち 子宮頸がんワクチン事業は早期中止を！

子宮頸がんのワクチン摂取により、重篤な副反応が出ている子どもたちがいるという指摘を受け、厚生労働省は6月に「積極的な摂取勧奨の一時中止」の通知を地方自治体に出しました。本市ではこれを受け、即座に対象者や医療機関への周知を図ったことから、現在新規の摂取希望者はいない状況です。歩くこともできないような

強い痛みで苦しんでいる子どももいます。

厚労省も認めているように、ワクチンが、子宮ガンを予防する効果はまだ証明されていません。今後接種により、健康被害を受ける子どもたちが一人も出ないように、国はワクチン接種事業をすぐにでも中止してほしいと思えます。

IV. 金比羅斜面緑地の売却問題

市は市街化区域の緑の保全に向け、市街地内丘陵地のみどりの保全条例を制定し、指定や買い取りを行ってきました。高尾町・初沢町にある金比羅斜面緑地（2006年指定）に対し、市は、これまで維持管理費として毎年600万円を所有者矢野学園に出しています。しかし、矢野学園は市に報告なしで、斜面緑地の指定を受けたまま、三和土木と売買契約を交わし、三和土木は防空壕があるような脆弱地盤

の土地に大規模な宅地開発を進める計画です。万が一開発されれば貴重な緑を失うだけでなく、土砂災害などの危険性も出てきます。金比羅斜面緑地の保全には、長年市が努力をしてきた経緯があります。今後、市は、保全に向け全力を尽くすのか、あっさりと開発を認めてしまうのか、まさに首長の姿勢が問われています。市民の皆さんと一緒に保全に向け、行方を注視していきたいと思えます。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

若尾きみえと生き生き市民会議

〒193-0833 八王子市めじろ台3-19-14

E-mail: info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>  若尾きみえ

若尾きみえプロフィール▶1964年岡山県生まれ、岡山大学教育学部卒業 ▶職歴
／岡山市立幼稚園にて教諭、結婚を機に退職後、仙台市、富山市にて英会話講師
▶活動歴／八王子市環境基本条例制定に向けて活動、八王子市ゆめおり市民会議環境分科会メンバー、八王子市西南部環境市民会議会員、2003年市議会議員初当選後、市議として2期活動、地域で高齢者福祉や防災問題に取り組む